



Q 医療機関を受診する人は多いのですか？

A アルコール依存症はありふれた病気です。しかし、病気であると推定される人の数は非常に多いにもかかわらず、わずかな人しか医療機関につながっていません。病気についての情報や知識の不足、病気と気づきにくいことなどから、本人も周囲もお酒にまつわる問題に悩みながら、時間を過ごしている人が多いと思います。

Q 本人はお酒をやめる気も治療を受ける気も全くありません。そのような場合はどうしたらいいですか？

A 飲酒の問題を認めていないご本人に受診を促すのは簡単なことではありません。ご家族が病気についての正しい知識や対応を学ぶための家族教室も行っています。まずはご相談ください。

Q 飲酒の影響で、内科にかかっていますが、身体の治療も受けることはできますか？

A 当院は精神科病院のため身体の治療はできません。まずは、かかりつけの主治医とご相談の上、当院にご連絡ください。



● **最寄の下車駅**

JR信越本線北長岡駅下車

● **タクシーご利用の場合**

長岡駅からタクシーで……………約15分

● **バスご利用の場合**

長岡駅から
越後交通精神医療センター行き……………約20分

● **自家用車ご利用の場合**

北陸自動車道 中之島見附ICより……………約20分
長岡北スマートICより……………約15分
関越自動車道 長岡ICより……………約20分

**アルコール
専門治療を
受けよう!**



**明るい未来を
切り開く**

新潟県立精神医療センター

〒940-0015 新潟県長岡市寿2-4-1
TEL 0258-24-3930 (代)

新潟県立精神医療センター

ひとりじゃない 回復できる病気です

アルコールの問題を抱えたご本人へ

アルコール依存症とは…

長期間、飲酒を繰り返すことにより誰でもなり得る病気です。お酒をやめようと思ってもやめられず、長い経過の中で、身体やこころの健康、円滑な対人関係や社会生活など、多くのものを奪っていきます。しかし、適切な治療や支援を受けていくことで、回復することができる病気です。

新潟県立精神医療センターでは、お酒をやめたいと思っている方へ、外来治療や入院治療によるアルコールリハビリテーションプログラムを提供しています。

アルコールリハビリテーションプログラム(ARP)とは…

約2か月間の入院生活を通して、断酒生活の基盤を作る重要なプログラムです。入院はご本人の同意に基づく入院となります。

(主なプログラム内容)

- 医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、栄養士等による講義
- ミーティング ○作業療法 ○自主活動 ○体験(酒歴)発表
- 自助グループへの参加 など

家族の方へ

家族教室について

アルコール依存症は、本人だけでなく家族も巻き込んでしまう病気です。アルコールの問題を抱えたご家族が、依存症という病気についての正しい知識をもち、家族としての対応を学んだり、家族同士が支え合う場として、家族教室を行っています。

- 日時：毎週水曜日 10:00～11:30
- 費用：無料 ●事前申込み：不要

受診までの流れ

①

まずはご相談ください。
☎0258-24-3930(代)

お酒をやめたいと思っていらっしゃるご本人、ご家族、関係者の方から、電話や来院をしていただき、医療ソーシャルワーカーが相談をお受けしています。費用は無料です。

②

詳細な状況をお聞きした上で、後日、予約日を連絡させていただきます。

③

かかりつけ医から紹介状をもらっていただき、当日ご持参ください。

お問い合わせ窓口

新潟県立精神医療センター 医療ソーシャルワーカー

電話：0258-24-3930(代)

(月曜から金曜 8:30～17:00 祝日、12/29～1/3は除く)